

収穫祭

2017. 12. 2 (ヨシクマ新聞より)

地域への感謝を込め

五郷小 収穫祭で住民と交流

熊野市の五郷小学校で2日、恒例とお世話になった人々なつた収穫祭が開かれ、児童たちが地域住民とともに自然の恵みを分かち合った。

午前中は五郷婦人会やほたる夢クラブ、保護者、児童らが準備に取り組み、芋餃子や大学芋、豚汁、マイや高菜、大根、ニンジン、白菜など野菜づくりの挑戦。五郷町の「ふる郷創生実行委員会」と連携した米作り体験も行った。今回、野たちが育てた作物を

同校では総合学習の時間などを活用し、児童たちがサツメはり寿司、天ぷらなど、児童たちも地域住民から教わりながら調理。正午には大勢の五郷町民らが来場する中、子どもたちが育てた作物を

走に、婦人会の鹿肉カレーや茶がゆも振る舞われ、大いに交流を深めた。午後1時から児童がこれまで練習してきた歌やダンス、合奏を発表。五郷中学校の生徒たちも合唱を披露し、最後は

小中合同の合唱もあり、来場者を喜ばせた。



【メニューについて説明する児童たち】



【料理を味わい、交流を深める来場者】

五郷小と合同で行った「収穫祭」は、様々な農業体験にご協力いただいた地域の皆様と、多くの農作物を与えてくれる五郷の自然に感謝して行う行事です。また地域の方との交流の場にもなっており、毎年、たくさんの方に来ていただいています。



様々な体験学習にご協力いただいた地域のみなさん、ありがとうございました。